

## 日本語ボランティア研修会

### ～外国語としての日本語を教える～

2019年10月13日

#### I. 外国語としての日本語とは

##### ◆ 国語と日本語の違い

国語の学習：知っている、使っている言語のルールを知る。

外国語としての日本語の学習：ルールを知って、その言語を使えるようにする。

##### ◆ 発音・表記

1) 音節一ひとまとまりに発音される最小の単位。日本語ではひらがな、カタカナ一文字。

・日本語は一音節の最後は母音

・一音節（一文字）は一拍。

拗音 一拍 お ちゃ (お茶)

促音 二拍 き っ て (切手)

※一音節ずつはっきり発音することで、日本人にわかってもらえる日本語を話すことができる。促音はあるなしで意味が変わってしまう場合が多々あるので注意。

#### 2) アクセント

日本語は高低アクセント。 強弱アクセントはない。

3) 長音一音節の母音を伸ばした発音。

・ひらがな 伸ばす音の母音で表記する

例：おかあさん おじいさん ゆうき

・音節の母音が「o」の長音は「う」で表記する。

例：こうこう (高校)、じょうほう (情報)、おとうさん (お父さん)

例外：とお（十）、こおり（氷）、とおり（通り）、おおきい（大きい）、とおい（遠い）

・カタカナ 伸ばし棒（ー）で表記する。

例：スーパー テーブル ノート

※長音を苦手とする学習者は多い。長音をしっかり発音しなければ意味が変わってしまう場合があるのは促音と同じである。

※発音は癖がついてしまうと直すのが大変なので、初級の段階でしっかり身に付けることが大切になる。

#### 4) 表記

日本語はこの言葉に四つの異なる表記を持つ

東京　とうきょう　トーキョー　Tokyo

※長音、促音の表記が正しくできなければ、何が書いてあるのかわからなくなったり、違う意味の言葉になってしまうのは発音と同様である。

## II. 日本語を教える

◆日本語の文法用語を知っておこう。

- です/ます形　丁寧形　普通形　て形　ない形　辞書形　た形　可能形  
受身形　条件形　意向形　禁止形　命令形　使役形　使役受け身形　い  
形容詞　な形容詞

- 動詞グループ（Ⅰグループ、Ⅱグループ、Ⅲグループ）

◆直接法で教える～媒介語を使わず、日本語のみで教える

1) 実物、絵カードを使用する。

2) 適切な例文を示す。

例：「～おかげで～/～せいで～」の導入。

風邪を引いたので、薬を飲みました。

A： 薬のおかげで、調子がよくなりました。よかったです。

B： 薬のせいで、眠くなってしまいました。仕事ができなくて、困りま

した。

例文で「おかげ」がいい結果になった場合の理由、「せい」がよくない結果になった場合の理由を表すことを理解させる。

その後、さらに動詞、形容詞の接続の形を例文で示しながら、用法確認をする。

3) 教師は学習者の理解語彙を使う。

特に初級の学習者に対して、理解できない言葉を話すと学習者は不安になり、わからないバリアを作ってしまう。

◆理解したことと使えることは別

1) 教師は説明をして学習者が領いたことで、満足しない。

2) 間違ったところは訂正後、必ず、言い直しをさせる。

3) 間違いを直すときは、すぐ正解を与えない。学習者が自分で気づくためのヒントと時間を与える。

例：T： 休みはどうしますか。

S： 東京で行くと思っています。

Sの間違いをどう訂正しますか。

4) フレーズごと暗記させる。好きな歌を覚えることも効果的。

◆教師と学習者の発話量

教師4：学習者6（少なくとも5：5）

◆教えるときに心掛けるべきこと

1) 十分な準備をするべきだが、準備したことをすべて教えようとしない。レベルに応じて、学習者にとって必要最低限のことを確実に教える。

2) 質問されて、わからないことがあった場合は慌てず、今はわからないので、次回

調べてくると言う。そして、次回必ず、答えを伝える。

3) まめに文型辞典や国語辞典を引く。

4) テキストを教えるのではなくテキストを使って日本語を教える。

### Ⅲ. 考えてみよう～学習者からよくある質問

1) 「ここに車を止めてください」と「ここで車を止めてください」は同じ意味ですか。

2) 「わたしは田中です」と「わたしが田中です」何が違いますか。

3) 「たら/れば/と」の使い分けがよくわかりません。

4) 学校でⅡグループの可能形は「食べられます」「見られます」だと習いましたが、会社の人には「食べれます」「見れます」と言います。会社の人には間違っていますか。

5) 日本語教室では丁寧な話し方をしますが、会社の人にはそんな話し方をしません。丁寧な日本語を勉強するより、会社の人が話すような日本語が勉強したいです。

※1)～3)は文法に関する質問。どう答えるか考えておけば、質問されたとき、慌てずに済む。

4)は、ら抜き言葉に関する問題。一昔前まではら抜き言葉は間違いであると教えていたが、今やNHKのアナウンサーまで、使う時代。大きな揺れの起きている文法なので、どう答えるか考えておこう。

5)は教室と実生活の場での言葉遣いの違いの問題。これもよく聞かれる。